

ナナ・アド・ダंकワ・アクフォ＝アド・ガーナ共和国大統領の  
日本国訪問に際しての日本国とガーナ共和国による共同声明

安倍晋三日本国総理大臣とナナ・アド・ダंकワ・アクフォ＝アド・ガーナ共和国大統領は、2018年12月10日から13日までのアクフォ＝アド大統領の訪日の機会に会談を行い、幅広い事項について議論した。

## I. 総論

1. 安倍総理大臣は、アクフォ＝アド大統領及びその代表団の訪日を歓迎した。
2. 両首脳は、自由、民主主義、法の支配及びグッド・ガバナンスの尊重といった普遍的価値に基づく両国間の友好・協力関係の着実な進展を歓迎し、二国間及び国際場裡における協力を一層強化するそのコミットメントを再確認した。
3. アクフォ＝アド大統領は、開かれ、包摂的で、透明性のあるパートナーシップの枠組みであるアフリカ開発会議（T I C A D）プロセスを通じたアフリカ開発に対する日本の主導的な役割を高く評価し、これまでの多大な貢献に対する謝意を表明した。両首脳は、T I C A Dで発表された取組の着実な実施の重要性を強調し、T I C A D 7の成功に向けた協力を再確認した。アクフォ＝アド大統領は、2019年に開催されるT I C A D 7への参加を約束した。

## II. 長きにわたる友好・協力関係の新たな段階

4. アクフォ＝アド大統領の訪日の機会に際して、両首脳は、野口英世博士のガーナとの深いつながりに象徴される豊かな歴史に基づき、戦略的な政治対話を行いつつ、日・ガーナ間の長きにわたる友好・協力関係が新たな段階に入ることを確認した。

### 開発協力

5. 安倍総理は、アクフォ＝アド大統領による「援助を越えるガーナ」(Ghana Beyond Aid) 構想を称賛し、質の高いインフラ整備、農業を含む産業開発の基盤の強化、並びに保健及び人材育成の分野におけるガーナによる社会経済開発のための取組に対する日本の継続した支援を再確認した。

6. 両首脳は、ガーナが、西アフリカ地域における連結性の強化及び経済活動の促進のための西アフリカ成長の環開発において、戦略的に重要な位置を占めているとの見解を共有し、開放性、透明性、ライフサイクル・コストから見た経済性、社会・環境面の配慮、及び債務持続可能性を含む対象国の財政健全性といった国際スタンダードにのっとりた形で質の高いインフラ開発を行う重要性を再認識した。アクフォ＝アド大統領は、アクラ中心部における電力供給の強化及びテマ交差点の改良といったガーナのインフラ開発に対する日本の協力を謝意を表明した。アクフォ＝アド大統領はまた、安倍総理に対し、第二次国道八号線改修計画に関する交換公文の署名に心からの謝意を表明した。
7. 両首脳は、ガーナの人間の安全保障及び成長の前提条件として、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成に向けた強靱な保健システムを促進することの重要性を再確認し、この点についてTICAD7における重点分野の一つとして議論する意向を表明した。アクフォ＝アド大統領は、コミュニティ・ベースでの保健サービスの強化や母子手帳の導入といった保健分野における日本の協力を謝意を表明した。また、アクフォ＝アド大統領は、安倍総理に対し、先般のアシャンティ州及びノーザン州における栄養不良への対応に関する交換公文の署名に心からの謝意を表明した。両首脳は、来年設立40周年を迎える野口記念医学研究所（NMIMR）による重要な貢献を称賛した。
8. 両首脳は、教育及び人材育成が国造り及び経済発展の基礎であることを再確認した。アクフォ＝アド大統領は、国家カイゼン・プロジェクト、アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）、人材育成奨学計画（JDS）といったガーナにおける人材育成及び技術移転における日本の支援に対し謝意を表明した。

#### 経済関係

9. 両首脳は、両国間の経済関係を強化するとの共通の希望を表明した。アクフォ＝アド大統領は、日本の企業をガーナへ歓迎し、そのビジネス及び投資にとって安定的で持続可能なビジネス環境を構築することに対するコミットメントを表明した。この観点から、両首脳は、アクフォ＝アド大統領訪日中の日本貿易振興機構（JETRO）及び在京ガーナ大使館による日本ガーナ・投資フォーラムの開催に満足の意を表明した。

## 文化、スポーツ、学術及び人的交流

10. 両首脳は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた協力に対するコミットメントを確認した。両首脳は、福島県の猪苗代町が2020年東京大会開催時のガーナのホストタウンとなるとの決定を歓迎した。
11. 両首脳は、両国間の文化・スポーツ・学術・人的交流の更なる増加に向けたコミットメントを確認した。この観点から、両首脳は、ガーナにおける日本語教育の拡大と毎年成功裏に実施しているジャパン・ウィーク・プログラムを歓迎した。
12. 両首脳は、両国間における若者間の交流の重要性を確認した。この文脈において、両首脳は、日本の伝統的舞踊であるよさこいを通じたものを含めた若者間の文化交流及び最近の高校生の交流を評価した。

## Ⅲ. より良い世界のための協力

### 平和と安定

13. 両首脳は、国際社会の平和、安定及び繁栄を確保することに対するコミットメントを表明した。アクフォ＝アド大統領は、日本の国際協調主義に基づく「積極的平和主義」に対する支持を表明した。両首脳は特に、コフィ・アナン平和維持訓練センター（KA IPTC）及び国連の三角パートナーシップ・プロジェクトの一環である国連PKO支援部隊早期展開プロジェクト（RDEC）・アフリカを通じた平和維持の分野における両国間の協力を継続するとの意思を共有した。

### 法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序

14. 両首脳は、海洋法に関する国際連合条約（UNCLOS）に反映されたものを含む普遍的に認められた国際法の諸原則に従った、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を維持することに対するコミットメントを再確認した。両首脳は、航行及び上空飛行の自由、阻害されない貿易、係争のある地形の非軍事化、自制並びに法的及び外交的プロセスの完全な尊重を通じたものを含む国際法に基づく紛争の平和的解決の重要性を強調した。両首脳は、現状を変更し得るあらゆる一方的行動に反対を表明した。安倍総理は、この点に関し、ガーナとコートジボワール間の海洋境界紛争に関する国際海洋法裁判所（ITLOS）の判決の遵守に対するコミットメントを評価した。

15. 両首脳は、ガーナにとって死活的に重要であるギニア湾海域における最近の海賊・海上武装強盗事案の増加に対し懸念を表明した。両首脳は、海賊、違法漁業その他の違法な活動への対応を含む、海上安全保障分野の協力を推進する必要性を再確認した。アクフォ＝アド大統領は、ギニア湾諸国の海賊対策支援を目的とした国際海事機関（IMO）が設立した基金に対するトップドナーである日本に感謝の意を示した。

#### 北朝鮮

16. 両首脳は、関連する国連安保理決議に従い、北朝鮮による全ての大量破壊兵器及びあらゆる射程の弾道ミサイルの完全な、検証可能な、かつ不可逆的な廃棄という国際社会の目標に対するコミットメントを再確認するとともに、北朝鮮に対して、前述の目標に向かって具体的な措置を講じることを求めた。両首脳はさらに、この点に関する米国の外交的取組に対する支持を表明するとともに、国連憲章の下での義務に従って、関連する国連安保理決議を完全に履行するとのコミットメントを再確認した。
17. 両首脳は、拉致問題に関連する国際的な文書に留意し、拉致問題の即時解決の重要性を強調した。

#### 核軍縮・不拡散

18. 両首脳は、国際的な核軍縮・不拡散の基礎としての核兵器の不拡散に関する条約（NPT）の重要性を強調した。両首脳は、核兵器国と非核兵器国との間の協力に基づく実践的かつ具体的な措置によってNPT体制を強化するために協働すること、また、2020年のNPT運用検討会議の意義ある成果のために協力することを確認した。両首脳はさらに、包括的核実験禁止条約の発効、核兵器用核分裂性物質生産禁止条約の交渉の開始促進といった他の不拡散及び軍縮の問題についても協力することを確認した。

#### 国連安保理改革

19. 両首脳は、国連安保理をより正統性があり、実効的で、代表性が高い、21世紀の国際社会の現実を反映した組織にするため、常任・非常任議席双方の拡大を含む包括的な国連安保理改革の重要性を再確認した。両首脳は、テキスト・ベース交渉を早期に開始することの必要性を強調す

るとともに、改革の早期実現に向け、政府間交渉に係る作業に引き続き建設的に取り組む決意を表明した。この観点から、安倍総理は、エズルウィニ合意にあるアフリカ共通ポジションが交渉文書に適切に反映されることに対する支持を表明した。両首脳はさらに、日本とアフリカが対話を継続することの重要性を確認した。

#### 地球規模課題

20. 両首脳は、持続可能な開発目標（SDGs）及びアフリカ連合アジェンダ2063達成のため、地球規模課題に対処するための二国間及び多国間協力を強化する必要性を認識した。安倍総理は、アクフォ＝アド大統領のSDGs 賢人アドボカシー・グループ共同議長再任に祝意を表すとともに、アクフォ＝アド大統領のSDGs 実現に対する貢献を称賛した。

#### 女性のエンパワーメント

21. 両首脳は、経済、社会、政治分野を含むあらゆる分野における女性の平等かつ完全な参画の重要性を再確認するとともに、「国際女性会議(WAW!)」やTICADといった機会を活用し、当該分野での協力を強化することで一致した。

#### 2025年国際博覧会

22. アクフォ＝アド大統領は、日本が2025年国際博覧会の開催国に選ばれたことに祝意を表した。安倍総理は、ガーナの支持に深い謝意を表明した。
23. アクフォ＝アド大統領は、安倍総理及び日本国政府に対し、今次訪問の間の同大統領及びその代表団に対する温かい歓迎と接遇につき深い謝意を表明した。

2018年12月11日、東京